

病害虫名	農薬名	区分	使用濃度	収穫前日数	使用回数	備考
土 壌 施 用						
アブラムシ類・コナジラミ類	スタークル粒剤		1g/株 (アブラムシ類)	育苗期	1回	株元散布
			1～2g/株 (コナジラミ類)	育苗期		株元散布
			1g/株	生育期但し 収穫開始14日 前まで		株元散布
ハモグリバエ類	プレバソンフロアブル5		100～200倍	育苗期後半～ 定植当日	1回	25ml/株 灌注
薬 剤 散 布						
うどんこ病	フルピカフロアブル		2000～3000倍	前日	4回	予防剤
	ベルコートフロアブル		2000倍	前日	7回	治療剤
	トリフミン乳剤		2000倍	前日	5回	治療剤
べと病	ダコニール1000		1000倍	前日	12回	予防剤
	リドミルゴールドMZ		1000倍	前日	3回	予防+治療剤
	ジマンダイセン水和剤		600～800倍	前日	3回	予防剤
灰色かび病	ロブラール水和剤		1000～1500倍	前日	4回	治療剤
	カンタスドライフロアブル		1000～1500倍	前日	3回	治療剤
アブラムシ類	ウララDF		2000～4000倍	前日	3回	
	モスピラン顆粒水溶剤	劇	2000～4000倍	前日	3回	
	モベントフロアブル		2000倍	前日	3回	
アザミウマ類・コナジラミ類	モスピラン顆粒水溶剤	劇	アザミウマ類 2000～4000倍	前日	3回	
			コナジラミ類 2000倍			
	アフーム乳剤		2000倍	前日	2回	
	ハチハチ乳剤	劇	1000～2000倍	前日	2回	
ハダニ類	グレーシア乳剤		2000倍	前日	2回	
	コテツフロアブル	劇	2000倍	前日	3回	
	マイトコーネフロアブル		1000倍	前日	1回	
ウリノメイガ	フェニックス顆粒水和剤		2000～4000倍	前日	3回	
ハモグリバエ類	ベネビアOD		2000倍	前日	3回	

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」